

くいでがわ

『杭瀬川でカワゲラウォッチング！』

綾里小児童26名



事務係長 後藤 有佑

川の水生生物を調べて河川の水質を調査する「カワゲラウォッチング」が5月28日（水）、大垣市野口地先の杭瀬川スポーツ公園で行われ、近くの市立綾里小学校3年生26名が川に入ってカワゲラなどを捕まえました。

これは、ふるさとの川「杭瀬川」に住む生き物を探したり、川を観察したりする活動を通して、身近な川の水質や環境の現状を知り、川の保全や環境への意識を高めることを目的として、大垣市環境衛生課が毎年実施しているもので、市内の市民団体「水門川いきいきプロジェクト」の皆さんがサポート活動をされています。

今回、揖斐川第二出張所にお声を掛けて頂きましたので、現地取材に訪れてみました。



大垣市野口地先（杭瀬川6.8K）

当日、子供たちは水温20℃の杭瀬川に水着姿で入り、水の冷たさに驚きながらも一生懸命に網で生き物を捕まえたものをバケツに集め、川から上がった後は、虫めがねやシャーレーを使って生き物の調査を行いました。1時間あまりの短い時間ではありましたが、普段、川に入る機会の少ない子供たちは、川の中にはたくさんの生き物が住んでいることを知り、そして生き物たちを実際に見て、観察することで、きれいな杭瀬川を守っていくことの大切さを感じることが出来たのではないかと思います。



きれいな水の指標となるカワゲラ



川岸でガサガサ調査を行う児童たち



捕まえた生き物を調査する児童たち